【速報版 第二弾】 学校における各種通信の実態と 教育効果に関する調査研究報告

2017年10月31日

繼 超 想 理想教育財団

お問い合わせ

鯔 園 園 園 大 理想教育財団 **☎**03-3575-4313 http://www.riso-ef.or.jp/

速報版第二弾について

公益財団法人理想教育財団では、本年3月25日、学校における各種通信の実態調査研究の概要(一般教諭・管理職対象)を「速報版」として発表しました。その後、さらに集計作業を進め、新たに保護者対象調査の結果が明らかになりました。

今回の「速報版第二弾」では、先の一般教諭・管理職対象調査のさらなる分析結果と、保護者対象調査の概要および一般教諭・管理職対象調査との比較分析などについてご報告します。教師の多忙化が叫ばれるなか、現場の先生方はどのような思いで通信を作成・発行しているのか、対して保護者は通信に何を期待しているのか。両者の調査結果から見えてくる、通信の"いま"をお届けします。

なお、前回の「速報版」は、毎日新聞(2017年9月7日夕刊)に『紙の 学級通信存在感~国公立小中8割発行』との見出しで大きく取り上げら れるなど、教育関係者のみならず各方面から反響をいただいています。 今回の第二弾に続き、来年発表される「最終報告書」にもご期待ください。

公益財団法人理想教育財団

本調査研究を担った「学校における各種通信の実態と教育効果に関する調査研究会」のメンバーは以下のとおりです。

冨安 敬二(立教大学名誉教授)

吉成 勝好 (新聞教育支援センター代表)

小林 正幸 (東京学芸大学教育実践研究支援センター教授)

井上 大輔 (新宿区立天神小学校主幹教諭)

五十嵐秀隆(公益財団法人理想教育財団事務局長)

福田 正美(公益財団法人理想教育財団事務局)

調査の概要

1. 調査目的

全国の学校現場における「学級通信」「学年通信」「学校だより」の発行状況と動向を調査し、 先生の多忙化が叫ばれるなか、通信発行にともなう障壁や問題点、発行の妨げとなっている要 因(通信を発行していない場合はその要因)を明らかにすることにより、その課題解決の方向 性や各種通信を作成・発行しやすい環境のあり方などを探る。さらに、通信が担っている役割 や教育的意義と教育効果の可能性を展望し、教育活動をより活性化させることを目的とする。

2. 調査方法

質問紙によるアンケート調査(調査協力依頼状および質問紙は、P.16以降に掲載)。

3. 調査実施時期

【一般教諭·管理職対象調查】平成28年2月1日~2月29日 【保護者対象調査】平成28年7月1日~平成29年3月31日

4. 調査対象

対象者は、全国の国公立小中学校 6,101 校*(小学校 4,000 校、中学校 2,101 校) に在籍する一般教諭および管理職 (校長、副校長・教頭、教務主任等)。対象者の抽出にあたっては、在籍校の規模にかたよりのないよう、小規模校・中規模校・大規模校のバランスにも留意した。

また、東京都を中心とした 29 都道府県に在住する小中学生の保護者にも調査を行った。 *当財団主催「プリントコミュニケーションひろば」に応募実績のある私立学校5校を含む。

5. 調査項目

【一般教諭対象調査】学級通信、学年通信の発行状況および発行者としての思いや悩み。 【管理職対象調査】学校だよりの発行状況および学級通信と学級経営との関係について。 【保護者対象調査】小中学校に在籍する児童・生徒の保護者は学級通信をどう読んでいるか。

6. 回収結果(有効回収数·回収率)

		小学校	中学校	その他 (公立小中一貫校等)	合計
一般教諭	有効回収数	2,062	1,028	120	3,210
川又守入中門	回収率	10.3%	9.8%	_	10.5%
管理職	有効回収数	1,197	642	_	1,839
日生版	回収率	6.0%	6.1%		6.0%
保護者	有効回収数	397	221		618
小 咬石	回収率	68.1%	44.5%	_	57.2%

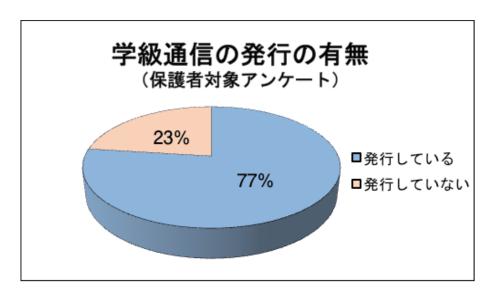
調査結果のポイント(速報版第二弾)

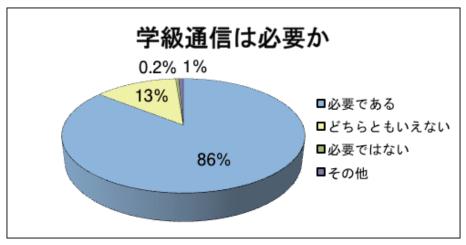
① 保護者の86%が「学級通信は必要」と回答

小中学生の保護者に「お子さんの学校では、学級通信を発行していますか?」と質問したところ、「発行している」と答えた人の割合は77%であった。これは先行して行った一般教諭対象調査で明らかになった「学級通信の発行率」とまったく同じ比率であり(P.5参照)、先の調査結果を補完するかたちとなったといえよう。

また、「学級通信は必要ですか?」という質問には、86%の保護者が「必要である」と回答。 次いで「どちらともいえない」13%、「必要ではない」はわずか0.2%に過ぎなかった。

なお、「どちらともいえない」という回答の中身を、他の自由記述欄などから推測すると、「先生の負担になっているのであれば必要ない」「あくまで先生に無理のない範囲で」と考えている保護者が少なくないことから、「発行してほしいが、先生の負担を考えるとどちらともいえない」という教師の多忙化への配慮が反映されていると思われる。

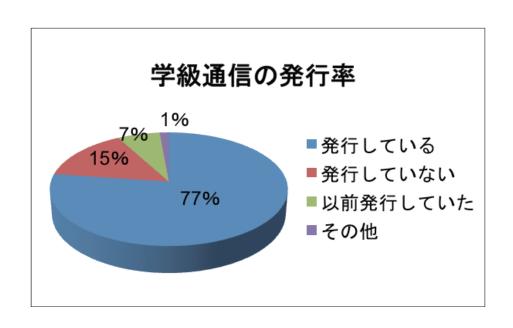


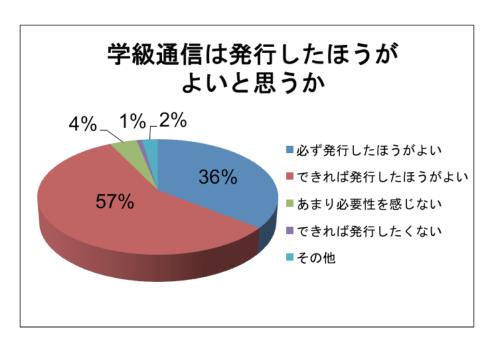


② 93%の先生が学級通信は「発行したほうがよい」と回答、だが、実際の発行率は77%

学級通信を「発行している」と答えた先生の割合は 77%だった。これを高いとみるか低いとみるかは難しいところだが、一方、「学級通信は発行したほうがよいと思いますか?」という質問に対しては、「必ず発行したほうがよい」36%、「できれば発行したほうがよい」57%、合わせて 93%の先生が「発行したほうがよい」と回答している。

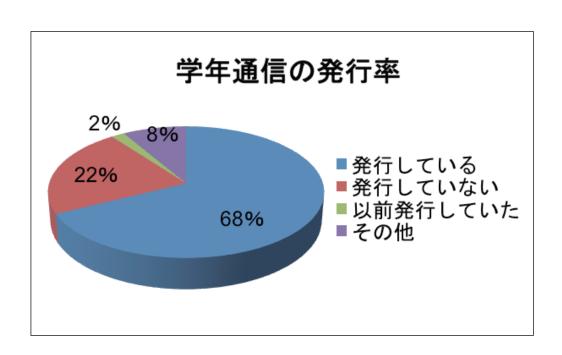
両者のギャップ (16%) が生じる要因については、P.9 に示した「学級通信を発行しない理由」 が参考になるかもしれない。

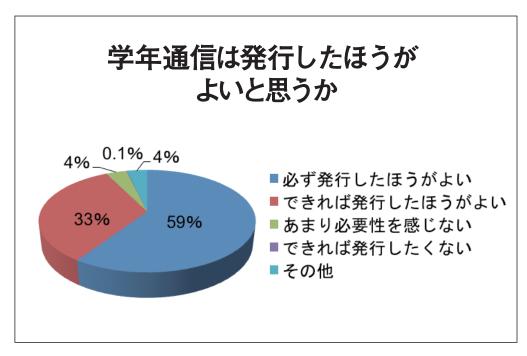




一方、**学年通信**については、「必ず発行したほうがよい」59%、「できれば発行したほうがよい」33%、合わせて92%の先生が「発行したほうがよい」と回答。この数値は学級通信とほぼ同じだが、「必ず発行したほうがよい」と「できれば発行したほうがよい」の比率が学級通信と逆転している点が興味深い。

このことから、学級通信より学年通信の必要性を感じている先生が多いことがうかがえるが、実際の発行率は学級通信の77%に対して、学年通信は68%と約10%も低かった。

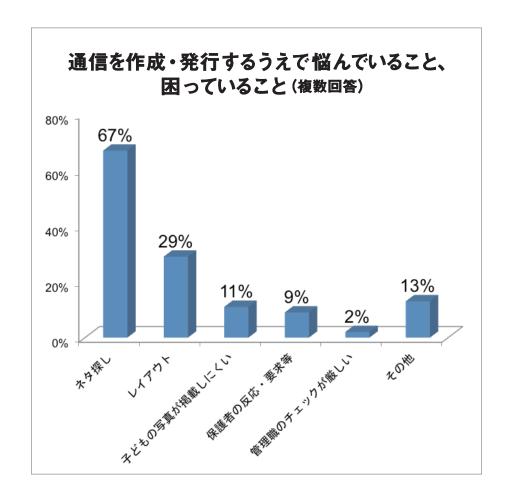




③ 67%の先生が「ネタ探しに困っている」

学級通信などの通信類は、おおむね定期的な発行を期待されている。したがって、たとえば 週1回のペースで発行するとなると、毎週なんらかの新しいネタを準備しなければならない。

「通信を作成・発行するうえで悩んでいること、困っていることは?」という質問に67%の 先生が「ネタ探し」と答えたのも当然だろう。しかし、そうした苦労が先生自身に思わぬ効 果をもたらすこともあり、「通信のネタを探すために、自分の眼を子どもに向けるきっかけに なっている」といった書き込みも多数みられた。



なお、上掲のグラフで「その他」と回答した先生(13%/303人)の約半数が、「時間がない」「作成時間が確保できない」など、忙しくて通信にまで手が回らない状況を悩みとしてあげている。以前は週1回のペースで発行していた先生が、「だんだん業務が増えてきてどうしようもなくなり、まず生徒と交わしていた個人の交換ノートをやめ、次に学級通信をやめざるを得なくなりました。親や子どもの声を取り上げるなど、よい反響もあったので残念です」など、多忙のため通信発行をあきらめざるを得ない状況も出てきている。

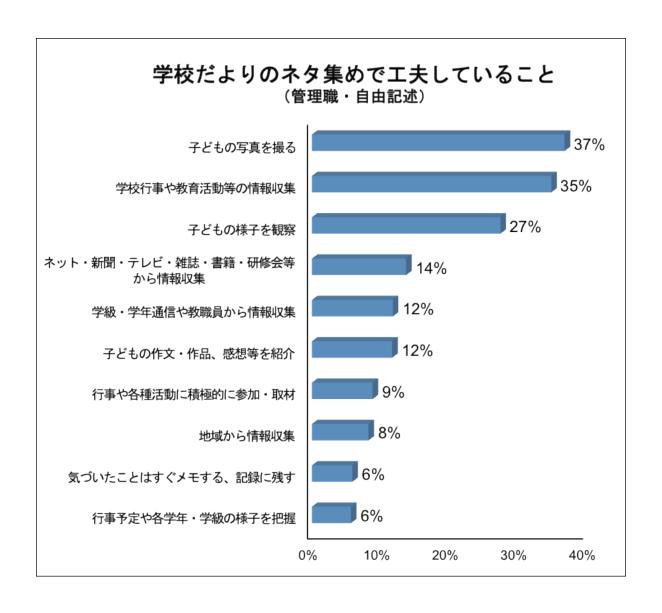
今回のアンケートで「悩んでいること、困っていること」の選択肢に「忙しくて時間がない」という項目を設けていたら結果は大きく違っていたと思われる。いずれにせよ、通信を作成・発行するうえで多忙化がひとつのネックとなっていることは間違いないだろう。

④ ネタ集めは「写真撮影」「情報収集」「子どもの観察」がポイント

一般教諭が学級通信を作成するうえで最も悩んでいるのは、「ネタ探し」67% (P.7参照)だった。これは管理職にも共通する悩みだろう。では、管理職の先生方は学校だよりを作成する際、どんなネタ集めの工夫をしているのだろうか。

トップ3は「子どもの写真を撮る」「学校行事や教育活動等の情報収集」「子どもの様子を観察」で、4位以降を大きく引き離している。なお、1位と3位については、「デジカメを持って授業や学級活動を見てまわる」などの書き込みも多いことから、写真撮影と子どもの観察はセットになっているとみることもできる。グラフに示したトップ10からは外れたが、「写真を共有フォルダーにストックし、職員全員が使えるようにする」(14位)などの回答もあり、いまや「子どもの写真を撮る」ことは通信づくりの最重要項目になっているようだ。

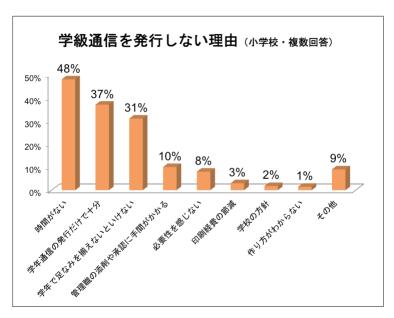
5位「学級・学年通信や教職員から情報収集」、6位「地域から情報収集」は、学校内外の情報を幅広く伝える学校だよりならではの工夫といえそうだ。21位と順位は低いが、今後の方向性を予感させるものとして、「ホームページやブログと連動させる」学校もみられた。

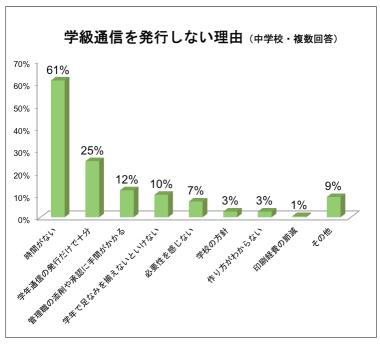


⑤ 学級通信を発行しない理由のトップは「時間がない」

学級通信の発行率が77%であることは P.5 で述べたが、逆にいえば、23%の先生が学級通信を発行していないことになる。その先生方に「発行しない理由」を聞いてみた。

「学級通信を発行しない理由」のトップ3は、小学校では、「時間がない」48%、「学年通信の発行だけで十分」37%、「学年で足なみを揃えないといけない」31%。中学校の場合もほぼ同様の順位だが、とりわけ「時間がない」が際立って多かった。





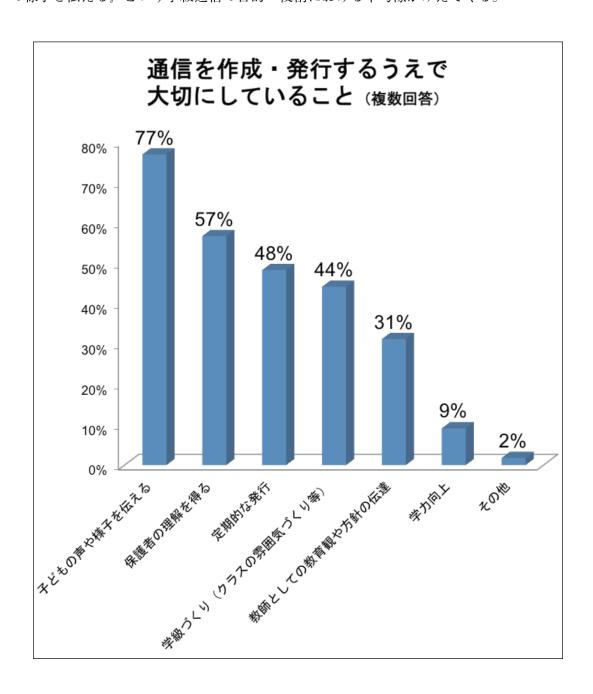
P.7で取り上げた「通信を作成・発行するうえで悩んでいること、困っていること」でも、「その他」と回答した先生の書き込みに「時間がない」「時間がかかる」との記述が多数みられることから、多忙化は学級通信の発行に少なからず影を落としていることがわかる。

⑥ 通信を作成・発行するうえで大切にしていること

「通信を作成・発行するうえで大切にしていることは?」という質問では、その回答から、 学級通信の発行目的や役割が浮き彫りになった。

最も多かった回答は「子どもの声や様子を伝える」77%、次いで「保護者の理解を得る」57%、 「定期的な発行」48%、「学級づくり」44%、「教師としての教育観や方針の伝達」31%の順。

この結果からは、《学級づくりの一環として保護者の理解を得るため、定期的に子どもたちの様子を伝える》という学級通信の目的・役割における平均像がみえてくる。



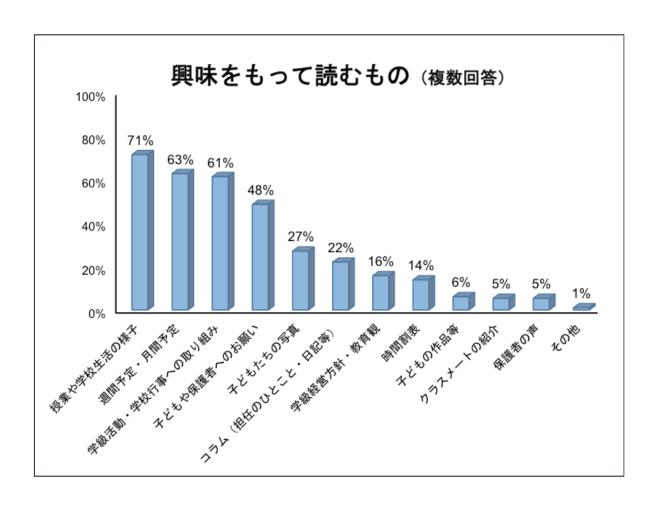
⑦ 保護者は学級通信に何を求めているのか

「学級通信のなかで興味をもって読むもの」は何かを保護者に聞いた結果が以下のグラフである。1位「授業や学校生活の様子」、3位「学級活動・学校行事への取り組み」、5位「子どもたちの写真」という結果が示すように、やはりいちばん気になるのは、わが子がどのような学校生活を送っているか、ということだろう。

2位の「週間予定・月間予定」も重要だ。共働き世帯が6割を超える現在、いつどのような授業や行事があり、何を準備して持たせればよいのかは、保護者にとって必須の情報といえるだろう。ここには小中別のグラフは示していないが、とくに小学校では子どもから正確な情報が伝わりにくいこともあり、この項目へのニーズが高い。この項目以外には、小学校と中学校との大きな順位の違いはみられなかった。

先生方が伝えたい要素のひとつである「学級経営方針・教育観」は7位と、思いのほか注 目度が低め。双方向性のある学級通信が望まれているといわれるなかで、「保護者の声」も 11 位と低率だ。

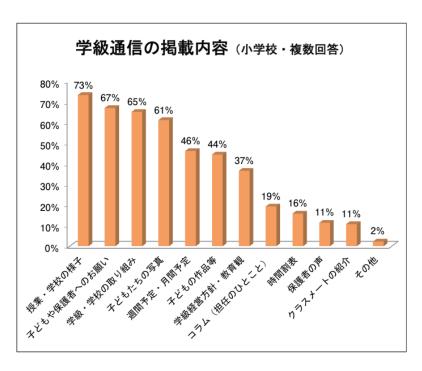
先生が力点を置く記事と、保護者が読みたい記事。そこにギャップがあるとするなら、通信作成に際して、あらためて保護者=読者のニーズを探ってみる必要があるかもしれない。

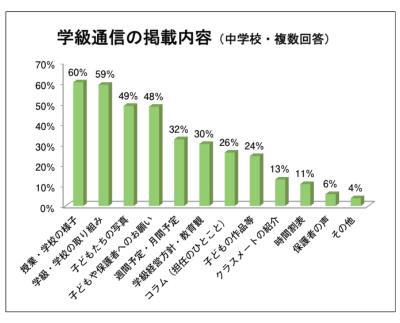


⑧ 小学校の学級通信は、読者=保護者を意識した内容に

「学級通信にどのような内容を掲載しているか」を先生に聞いた結果が以下のグラフである。 小学校と中学校の掲載内容に大きな差はみられないが、小学校で2位(67%)にランクイ ンしている「子どもや保護者へのお願い」が中学校では4位(48%)にとどまっている点は 小中の違いを顕著に表しているといえよう。全体の傾向としても、まだ子どもの年齢が低い 小学校では、中学校に比べてより読者=保護者を意識した情報発信がなされているようだ。

なお、これらの掲載項目は、多少順位に違いはあるものの、P.11 で紹介した、保護者が「学級通信で興味をもって読むもの」の調査結果におおむね沿った内容になっている





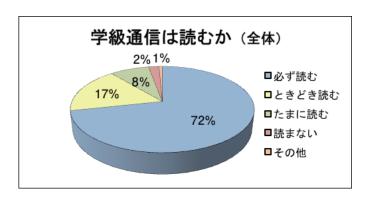
⑨ 保護者の72%が「必ず読む」、17%が「ときどき読む」

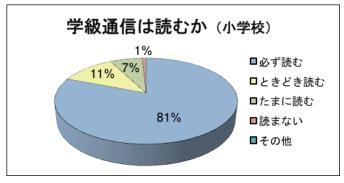
「どれだけ保護者が読んでいるのか疑問に感じる」「返信欄を設けているが、なかなか返事をいただけません。保護者に手渡されているのか心配になります」――先生方のアンケートには、こうした書き込みが少なくない。実際のところどうなのか。

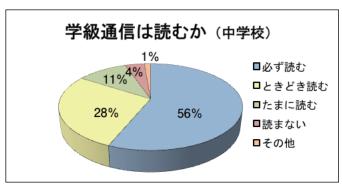
保護者アンケートの結果(全体)をみると、「必ず読む」72%、「ときどき読む」17%、合わせて約9割の保護者が"読んでいる"ことになる。気になるのは小学校と中学校の違いだ。

小学校では「必ず読む」が 81%と高率だが、中学校では 56%と大幅ダウン。逆に、「ときどき読む」は小学校 11%、中学校 28%と、中学校が上回る。理由は定かでないが、反抗期を迎える中学生の場合、「学校からのプリント類を親に渡さない」(保護者の書き込み多数)といった事情も関係しているようだ。

「学年が上がるにつれて親に通信を見せない傾向があるので、ファイルに綴じて必ず保護者から見たというサインをもらい、翌日(翌週)にチェックを入れています」(先生の書き込み)など、なんとか読んでもらおうとする先生の苦労もなかなかのものだ。







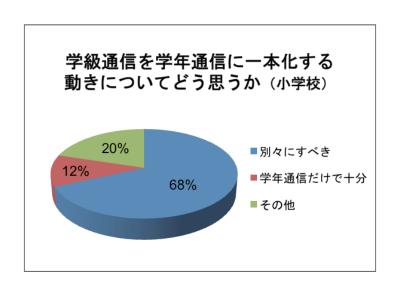
⑩ 学級通信・学年通信一本化の動きに対し、「別々に発行すべき」が 71%

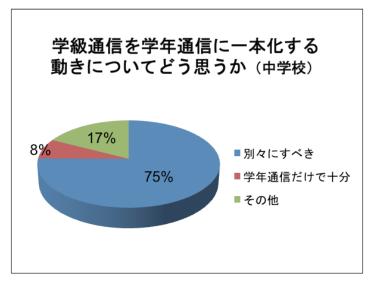
最近、先生の多忙化軽減策として、学級通信を廃止し、学年通信に一本化する自治体が出てきた。その動向を探るために、本調査(管理職対象アンケート)でも、こうした一本化の動きついてどう思うかを質問してみた。

回答は、「別々に発行すべき」「学年通信だけで十分」「その他(自由記述)」の3択制。 結果は、「別々に発行すべき」が小学校68%、中学校75%(小中計71%)と圧倒的多数を占め、 「学年通信だけで十分」は小学校12%、中学校8%(小中計10%)に過ぎなかった。

なお、「学年通信だけで十分」とする回答には、少子化の影響もあり、単学級や複式学級のケースも多々含まれている。また、「学級通信は同一学年の全クラスで出すのが理想だが、現実的に難しいため学年通信で統一している」「学年通信を補うために学級通信は必要」「一本化するなら学級通信だけで十分」などの書き込みも目立った。

P.4 で紹介した調査結果でも、「学級通信は必要である」とする保護者は86%に上っている。 一本化を考えるにあたっては、こうした保護者のニーズにも十分な配慮が必要だろう。





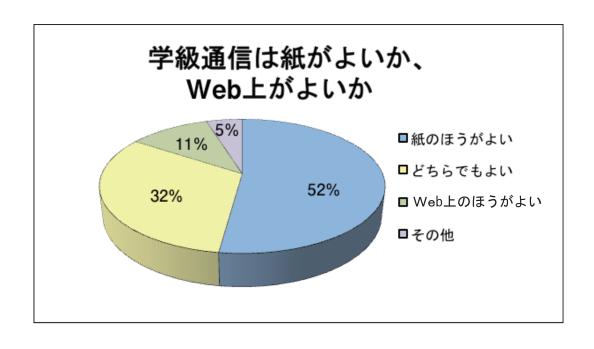
① 根強い人気、「紙の学級通信がよい」が過半数

携帯・スマートフォン 96%、パソコン 77%——家庭における情報端末機器の普及が目覚ましいなか (総務省、2016年版情報通信白書)、学校の情報発信のあり方も転換を迫られている。こうした状況を踏まえ、保護者対象アンケートでは「学級通信が紙媒体ではなく、Web上で見られるようになったらどう思いますか?」という質問を設けた。

結果は、「紙のほうがよい」52%、「Web上のほうがよい」11%、「どちらでもよい」32%。 やはり長年なじみのある紙の人気は根強いようだ。しかし、見方を変えれば、「Web上のほう がよい|「どちらでもよい」の合計43%が、「Webでもよい」と考えていることになる。

紙派の理由で多いのは「子どもから手渡しされる」「一緒に見る」という行為に意義があるとする意見、一方、Web派は「子どもが渡し忘れるので」「どこでも読める」「写真がカラーで見られる」などの理由が多くを占めた。

では、作り手側の先生方はどう考えているのか。書き込み欄をみると、「紙媒体からメルマガなどに移行する流れがあってもよいかと思う」という Web 志向の先生がいる一方で、「紙だけではなくブログも利用することで手軽に学級通信を発信することができるようになった。連絡やお知らせは紙で、子どもたちの写真はブログでと使い分けている」という併用派の先生もいる。ちなみに、保護者の書き込みにも「紙とWebの併用」を望む声が散見された。



一般の先生方へのアンケート

*学校で発行される通信類には「通信」「たより」などさまざまな呼称がありますが、当アンケートでは原則として「通信」を用いています。

Q1 先生のプロフィールについて教えてください	
① □小学校教諭 □中学校教諭 □その他()
② □()年生の担任をしている □担任はしていない	
③ □男性 □女性 / 教職歴 () 年	
④勤務校の児童・生徒数 () 人	
Q2 学級通信と学年通信の発行について教えてください	
*単学級の場合、「学級通信」と考えるか、「学年通信」と考えるかは、みなさまのご判断におまかせします。	
①現在、先生は学級通信または学年通信を発行していますか?	
学級通信を □発行している □発行していない □以前発行していたが、いまは発行していた。	ない
□その他()
学年通信を □発行している □発行していない □以前発行していたが、いまは発行していた。	ない
□その他()
②学級通信は発行したほうがよいと思いますか?	
□必ず発行したほうがよい □できれば発行したほうがよい □あまり必要性を感じない	
□できれば発行したくない □その他()
③学年通信は発行したほうがよいと思いますか?	
□必ず発行したほうがよい □できれば発行したほうがよい □あまり必要性を感じない	
□できれば発行したくない □その他()
④学年通信の発行を担当している先生は?	
□学年主任 □同学年担当の先生が順番に □その他()
Q3 学級通信や学年通信を発行していない先生のみお答えください	
①学級通信を発行していない理由を教えてください(複数回答可)	
□学校の方針だから □学年で足なみを揃えないといけないから(自分のクラスだけ発行できない	· 1)
□管理職の添削や承認に手間がかかるから □学年通信の発行だけで十分だから	
□必要性を感じない □作り方がわからない □時間がない □印刷経費の節減	
□その他()
②学年通信を発行していない理由を教えてください(複数回答可)	
□学校の方針だから □学級通信の発行だけで十分だから □必要性を感じない	
□作り方がわからない □時間がない □印刷経費の節減	
□その他()
Q4 学級通信や学年通信を発行している先生のみお答えください	
①先生が発行する学級通信のタイトルは?)
先生が発行する学年通信のタイトルは?)
②今年度の発行頻度は?	
学級通信を(年・月・週・日・不定期)に(回程度)発行している	
学年通信を(年・月・週・日・不定期)に(回程度)発行している	

③発行している通信の体裁は?	
【判 型】□B5 □A4 □B4 □A3 □その他()
【印刷面】□片面印刷 □両面印刷 □その他()
【刷り色】 \square モノクロ \square カラー \square 2色印刷 \square その他()
④原稿の作成方法は?	
□パソコン □手書き □パソコン+手書き	
□その他()
⑤印刷方法は?	
□学校の印刷機 □パソコンのプリンター □コピー機	
□その他()
⑥学級通信の場合、どのような内容を掲載していますか?(複数回答可)	
□学級経営方針・教育観 □子どもや保護者へのお願い □授業や学校生活の様子	
□学級活動・学校行事への取り組み □子どもたちの写真 □週間予定・月間予定	
□時間割表 □クラスメートの紹介 □保護者の声 □コラム(担任のひとこと・日	記等)
□子どもの作品等 □その他 ()
⑦学年通信の場合、どのような内容を掲載していますか? (複数回答可)	
□学年経営方針・教育観 □子どもや保護者へのお願い □授業や学校生活の様子	
□学年活動・学校行事への取り組み □子どもたちの写真 □週間予定・月間予定	
□保護者の声 □コラム □子どもの作品等	
□その他()
⑧通信を作成する時間はどのくらいですか?	
(学級通信・学年通信)の作成時間は $\square 30$ 分 $\square 1$ 時間 $\square 2 \sim 3$ 時間	
□それ以上()時間	
⑨おもにいつ、どこで作成していますか?	
(学級通信・学年通信)の作成は □いつ()
口どこで()
⑩通信を作成することを負担に感じたことはありますか?	
□とても感じる □多少感じる □あまり感じない □まったく感じない	
①通信を作成・発行するうえで大切にしていることは? (複数回答可)	
□定期的な発行 □子どもの声や様子を伝える □保護者の理解を得る	
□教師としての教育観や方針の伝達 □学力向上 □学級づくり(クラスの雰囲気づく	り等)
□その他()
⑫通信を作成・発行するうえで悩んでいること、困っていることは?	
□ネタ探し □レイアウト □子どもの写真が掲載しにくい □管理職のチェックが	厳しい
□保護者の反応・要求等	
□その他()
⑬初めて通信を発行したとき、なにを参考にしましたか?	
□先輩の通信を見て □インターネットで検索 □通信づくりの本を見て	
□その他()
Q5 「プリントコミュニケーションひろば」というコンクールをご存じですか?	,
□知っている □応募したことがある (回) □知らない	

	ご協力いた	だいたみなさ	とうございました。 まには粗品を進呈させていただきますので、さしつかえなければ下記に 所など必要事項をお書きください。	Ξ
	お名前		フリガナ	
			(男・女))
		学校名		
	お勤め先	所在地	₸	

最後に、通信づくりについて感じていること考えていることなどを自由にお書きください。 *例:通信発行による効果やメリット、子どもや保護者からの反応、初めて通信を発行する先生へのアドバイス……

本アンケートの締切は、2月29日とさせていただきます。

)

(

電話番号

e-mail

※別紙アンケート用紙にご記入のうえ、同封の返信用封筒にてご返送ください。

管理職(校長、副校長・教頭、教務主任等)の先生方へのアンケート

Q 1 先生のプロフィール(役職など)について教えてください	
①□校長 □副校長・教頭 □教務主任 □その他()
②担任をしていた頃、学級通信を □積極的に出していた □ときどき出していた	
□出さなかった □その他()
③勤務校の児童・生徒数()人	
Q2 貴校で発行しているさまざまな通信類について教えてください	
①先生の学校では、どんな通信が発行されていますか?	
□学校だより □学年通信 □学級通信 □保健だより □給食だより □図書館だより	
□その他()
②学級通信を発行しているクラス数は?	
() 学級中() 学級で発行している	
③通信類を事前にチェックする際のポイントは?	
□目を通す程度で、基本的には自主性に任せている	
□誤字・脱字の指摘程度にとどめる	
□表現や内容にまで踏み込んで修正する場合がある	,
□その他()
0.0 単位だよりも発行している担合のユヤダミノださい	
Q3 学校だよりを発行している場合のみお答えください ①学校だよりのタイトルは? ()	
①学校だよりのライドがは: ()	
□その他()
③学校だよりの発行頻度は? □月1回 □月2回 □週1回 □その他()
④学校だよりを発行する主な目的は? ()
⑤学校だよりの掲載内容は? (複数回答可)	,
□巻頭言 □学校の取り組み □子どもたちの様子 □学校行事の話題 □行事等(の予定
□保護者へのお願い □社会の動き □ちょっとしたいい話	- 1 /C
□子どもたちや保護者への励ましの言葉	
□その他()
⑥学校だよりを作成するうえでネタ集めとして工夫していることは?(自由記述)	,
②学校だよりを発行していて、「よかった」と思うのはどんなことですか? (自由記述)	

ご多忙中、ご協力ありがとうございました。

で協力いただいたみなさまには粗品を進呈させていただきますので、さしつかえなければ下記に お名前・お勤め先のご住所など必要事項をお書きください。

お名前		フリガナ
		(男・女)
お勤め先	学校名	
	所在地	Ŧ
	電話番号	()
e-mail		

本アンケートの締切は、2月29日とさせていただきます。

※別紙アンケート用紙にご記入のうえ、同封の返信用封筒にてご返送ください。

Q1 お子さんの学校では、学級通信 (単学級の場合は学年通信) を発行していますか 1. 発行している 2. 発行していない 3. その他()
Q2 Q1で「発行していない」と答えた方にお聞きします ①学級通信を発行してほしいですか? 1. ぜひ発行してほしい 2. どちらかといえば発行してほしい 3. あまり発行の必要を感じない 4. 発行する必要はない → ※最後のQ4 および Q5 の質問にもお答えください	
Q3 Q1で「発行している」と答えた方にお聞きします ①学級通信の発行サイクルはどれくらいですか?	
1. 毎日 2. 週 1 ~ 2 回 3. 隔週 4. 月 1 回 5. その他()
②現在の発行サイクルについてどう思いますか?	,
1.多い 2. ちょうどよい 3. 少ない 4. その他 ()
③学級通信は必ず読みますか?	
1. 必ず読む 2. ときどき読む 3. たまに読む 4. 読まない	
5. その他()
 ④学級通信のなかで興味をもって読むものについて、5つ以内で○をつけてください(複数I 1. 学級経営方針・教育観 2. 子どもや保護者へのお願い 3. 授業や学校生活の様子 4. 学級活動・学校行事への取り組み 5. 子どもたちの写真 6. 週間予定・月間予定 7. 時間割表 8. クラスメートの紹介 9. 保護者の声 10. コラム(担任のひとこと・日 11. 子どもの作品等 12. その他(
⑤学級通信は必要ですか?	
1. 必要である 2. どちらともいえない 3. 必要ではない	\
4. その他()
⑥上の⑤の答えについて、その理由を教えてください(自由記述)	
⑦学級通信を読んで、役に立ったこと、参考になったこと、うれしかったことなどがあったと	5
教えてください(自由記述)	
⑧学級通信に載せてほしい情報について、5つ以内で○をつけてください(複数回答可)	
1. 学級経営方針・教育観 2. 子どもや保護者へのお願い 3. 授業や学校生活の様子	
4. 学級活動・学校行事への取り組み 5. 子どもたちの写真 6. 週間予定・月間予定	
7. 時間割表 8. クラスメートの紹介 9. 保護者の声 10. コラム (担任のひとこと・日	記等)
11. 子どもの作品等 12. その他 ()

⑨現在の学級通信につい	て不満や要望はありますか	?(自由記述)		
⑩学級通信の内容につい	て、お子さんと話をするこ。	とがありますカ	ታ ነ ?	
1. よくある 2. とき	どきある 3. たまにある	4. ない		
5. その他()
⑪お子さんは学級通信に	ついてどう感じていると思い	いますか?		
1. 楽しみにしているよ	うだ 2. とくに関心はない	ハようだ 3	1.よくわからない	
4. その他()
⑫保護者の声や感想が載	っている学級通信について	どう思いますカ	ን ?	
	2. どちらともいえない	3. ないほうた	ぶよい	
4. その他()
	者の間で話題になることは			
	どきある 3. たまにある	4. ない		
5. その他()
	なく、Web 上で見られるよ			
	2. どちらでもよい 3. $W\epsilon$	か上のほうが。	よい	
4. その他()
	頻度の多さが、担任の先生	を評価すること	とにつながりますか?	
	2.評価にはつながらない			
3. その他()
	アポッテッファ し サ こ	こていファし	+- "+ + + + + + + + +	· / +"
Q4 字級通信につい	て感じていること、考え	ここいること	なとを目出にお書き	くたざい
Q5 最後に簡単な基	礎情報を教えてください	`		
以び取技に同半の空間	使	1		
お住まいの地域	1 /7 \ ``	ф	+ 5 5	
		・府・県	市・区・日	
				町・村
あなたの年齢	歳	性別	女 男	町・村

ご多忙中、ご協力ありがとうございました。

ご協力いただいたみなさまには粗品を進呈させていただきます。